

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753
 ルネサス エレクトロニクス株式会社
 問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>
 E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RX*-A120A/J	Rev.	第1版
題名	RX630 グループ、および RX63N/RX631 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編の誤記訂正		情報分類	技術情報	
適用製品	RX630 グループ RX63N、RX631 グループ	対象ロット等	関連資料	RX630 グループ RX63N、RX631 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	
		全ロット			

上記適用製品のユーザーズマニュアル ハードウェア編において、記載内容に誤記がありますので、ご連絡致します。
 修正箇所を赤字で示します。

〈訂正内容〉

○概要章 の記載を、以下の通り訂正致します。

対象製品：RX63N、RX631 グループ (page 114 to 123 of 2076)

【訂正内容】

表 1.9 機能別端子一覧 (100 ピン TFLGA)、 および 表 1.10 端子別機能一覧 (100 ピン LQFP) の下記注釈および表中の”注 1”の記載を削除します。

~~「注 1. ROM 容量 768K バイト以上のみ有効」~~

○マルチピンファンクションコントローラ (MPC) 章 の記載を、以下の通り訂正致します。

対象製品：RX63N、RX631 グループ (page 721 to 722 of 1725)

【訂正前】

22.2.2 P0n 端子機能制御レジスタ (P0nPFS) (n=0~3、5、7)

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4-b0	PSEL[4:0]	端子機能選択ビット	周辺機能を選択します。個々の端子機能については、下表を参照してください	R/W
b5	—	予約ビット	読むと”0”が読めます。書く場合、”0”としてください	R/W
b6	ISEL	割り込み入力機能選択ビット	0：IRQn 入力端子として使用しない 1：IRQn 入力端子として使用する	R/W
b7	ASEL	アナログ入力機能選択ビット	0：アナログ端子以外に使用する 1：アナログ端子として使用する	R/W

表 22.4 64ピン LQFP、64ピン TFLGA 端子入出力機能レジスタ設定

PSEL[4:0]ビット 設定値	端子 P05
00000b (初期値)	Hi-Z
00101b	—
01001b	ADTRG0#
01010b	—

【訂正後】

22.2.2 P0n 端子機能制御レジスタ (P0nPFS) (n=0~3、5、7)

ビット	シンボル	ビット名	機能	R/W
b4-b0	PSEL[4:0]	端子機能選択ビット	周辺機能を選択します。個々の端子機能については、 下表を参照してください	R/W
b5	—	予約ビット	読むと”0”が読めます。書く場合、”0”としてください	R/W
b6	ISEL	割り込み入力機能選択ビット	0：IRQn 入力端子として使用しない 1：IRQn 入力端子として使用する	R/W
b7	ASEL	アナログ機能選択ビット	0：アナログ端子以外に使用する 1：アナログ端子として使用する P03：DA0 (177/176/145/144ピン) P05：DA1 (177/176/145/144/100/64ピン)	R/W

表 22.4 64ピン LQFP、64ピン TFLGA 端子入出力機能レジスタ設定

PSEL[4:0]ビット 設定値	端子 P05
00000b (初期値)	Hi-Z
00101b	—
01001b	—
01010b	—

○USB2.0 ファンクションモジュール (USBa) 章 の記載を、以下の通り訂正致します。

対象製品：RX630 グループ (page 1000 of 1725)

【訂正前】

31.2.1 システムコンフィギュレーションコントロールレジスタ (SYSCFG)

SCKE ビット (USB クロック許可ビット)

USB への 48MHz クロック供給の停止/許可を指定します。

SCKE ビットが”0”の場合、SYSCFG レジスタ、DMA0PCFG レジスタ、DMA1PCFG レジスタのみ、読み出し/書き込みができます。

USB 内の他のレジスタは、SCKE ビットが”0”の場合には、読み出し/書き込みはできません。

【訂正後】

31.2.1 システムコンフィギュレーションコントロールレジスタ (SYSCFG)

SCKE ビット (USB クロック許可ビット)

USB への 48MHz クロック供給の停止/許可を指定します。

SCKE ビットが”0”の場合、SYSCFG レジスタのみ、読み出し/書き込みができます。

USB 内の他のレジスタは、SCKE ビットが”0”の場合には、読み出し/書き込みはできません。

○フラッシュメモリ章 の記載を、以下の通り訂正致します。

対象製品：RX630 グループ (page 1543 of 1725)

RX63N、RX631 グループ (page 1848 of 2076)

以下は RX630 グループを例に記載します。

【訂正前】

表 43.2 ユーザ領域のブロックとアドレスの関係

ブロック番号	開始アドレス	ブロック構成	領域
69	FFE0 0000h	64K x8ブロック	領域3
68	FFE1 0000h		
～ 中略 ～			
12	FFFE 4000h	16K x22ブロック	領域0
11	FFFE 8000h		
10	FFFE C000h		
9	FFFF 0000h		
8	FFFF 4000h		
7	FFFF 8000h		
6	FFFF 9000h	4K x8ブロック	
5	FFFF A000h		
4	FFFF B000h		
3	FFFF C000h		
2	FFFF D000h		
1	FFFF E000h		
0	FFFF F000h		

【訂正後】

表 43.2 ユーザ領域のブロックとアドレスの関係

ブロック番号	開始アドレス	ブロック構成	領域
69	FFE0 0000h	64K x8ブロック	領域3
68	FFE1 0000h		
～ 中略 ～			
12	FFFE 4000h	16K x22ブロック	領域0
11	FFFE 8000h		
10	FFFE C000h		
09	FFFF 0000h		
08	FFFF 4000h		
07	FFFF 8000h		
06	FFFF 9000h	4K x8ブロック	
05	FFFF A000h		
04	FFFF B000h		
03	FFFF C000h		
02	FFFF D000h		
01	FFFF E000h		
00	FFFF F000h		

○フラッシュメモリ章 の記載を、以下の通り訂正致します。

対象製品：RX630 グループ (page 1596 of 1725)

RX63N、RX631 グループ (page 1902 of 2076)

以下は RX630 グループを例に記載します。

【訂正前】

43.7 ユーザブートモード

ユーザブートモードは、任意の通信インタフェースを使用してユーザ領域とデータ領域のプログラムやイレーズができるモードです。ユーザブートプログラムが書かれた状態で MD 端子を Low、PC7 端子を High にしてリセットを解除してください。

製品出荷時、ユーザブート領域には USB ブートプログラムが格納されています。ユーザブートモードを使用する場合、ブートモードで起動し、ユーザブート領域にある USB ブートプログラムを消去して、ユーザブートプログラムに書き換える必要があります。そのため、ユーザブートモードと USB ブートモードは、プログラムの書き換えなくダイナミックに切り替えて使用することはできません。

また、ユーザブートモードで起動した後に SYSCR0.EXBE ビットを”1” (外部バス有効) にすると、内蔵 ROM 有効拡張モードで動作することもできます。

【訂正後】

43.7 ユーザブートモード

ユーザブートモードは、任意の通信インタフェースを使用してユーザ領域とデータ領域のプログラムやイレーズができるモードです。ユーザブートプログラムが書かれた状態で MD 端子を Low、PC7 端子を High にしてリセットを解除してください。

このときのリセットバクタは、ユーザブート領域の”FF7F FFFCh”番地になります。そのほかのバクタテーブルは、通常のバクタテーブルを参照します (「15. 割り込みコントローラ (ICUb)」の章を参照)。

製品出荷時、ユーザブート領域には USB ブートプログラムが格納されています。ユーザブートモードを使用する場合、ブートモードで起動し、ユーザブート領域にある USB ブートプログラムを消去して、ユーザブートプログラムに書き換える必要があります。そのため、ユーザブートモードと USB ブートモードは、プログラムの書き換えなくダイナミックに切り替えて使用することはできません。

また、ユーザブートモードで起動した後に SYSCR0.EXBE ビットを”1” (外部バス有効) にすると、内蔵 ROM 有効拡張モードで動作することもできます。

○フラッシュメモリ章 の記載を、以下の通り訂正致します。

対象製品：RX630 グループ (page 1625 of 1725)

RX63N、RX631 グループ (page 1932 of 2076)

以下は RX630 グループを例に記載します。

【訂正前】

43.11 ROM コードプロテクト

ROM コードプロテクトは、フラッシュライタを使用する場合にフラッシュメモリの読み出し、書き換えを禁止する機能です。フラッシュメモリ上の ROM コードは、32 ビット長のデータです。図 43.37 に ROM コードの構成を示します。

ROM コードは 32 ビット単位で設定してください。

ROM コードプロテクトを解除する場合、ブートモードもしくはユーザプログラミングで ROM コードを含むユーザ領域のブロック EB00 をイレーズしてください。

【訂正後】

43.11 ROM コードプロテクト

ROM コードプロテクトは、フラッシュライタを使用する場合にフラッシュメモリの読み出し、書き換えを禁止する機能です。フラッシュメモリ上の ROM コードは、32 ビット長のデータです。図 43.37 に ROM コードの構成を示します。

ROM コードは 32 ビット単位で設定してください。

ROM コードプロテクトを解除する場合、ブートモードもしくはユーザプログラミングで ROM コードを含むユーザ領域のブロック 00 をイレーズしてください。

■適用製品及び関連資料

グループ	タイトル	Rev.	ドキュメント No.
RX630 グループ	RX630 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	Rev.1.60	R01UH0040JJ0160
RX63N、 RX631 グループ	RX63N グループ、RX631 グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編	Rev.1.80	R01UH0041JJ0180